

かわかみ そうくん  
川上宗薫

\* 大正13年4月23日 愛媛県生まれ

\* 昭和60年10月13日 没(61歳)



## ○ 略歴

キリスト教の牧師だった父親の関係で、大分・長崎で育つ。長崎の原爆で母と二人の妹を失う。大学卒業後、長崎市および千葉県の高校で約10年間英語教師をつとめるかたわら、純文学作家として「三田文学」などに作品を発表。ジュニア小説を執筆する一方、官能小説の第一人者ともなる。芥川賞候補となること5回。

昭和30年 「或る目醒め」でデビュー  
(31歳)

昭和43年 「ナガサキ・母と妹は炎と燃え」を「婦人公論」8月号に発表  
(44歳)

昭和45年 原爆投下前の長崎での中学時代をつづった自伝「傾斜面」発表  
(46歳)

昭和49年 「三十年目にナガサキは死んだ」を「潮」8月号に発表  
(50歳)

昭和60年 闘病記「おれ、ガンだよ」発表  
(61歳)

## ○ その他の代表作

明日は会おうね(昭45)、赤い夜(昭45)、或る体質(昭47)、流行作家(昭48)

天地無用(昭58)、川上宗薫芥川賞候補作品集(昭58)